



USER GUIDE | VERSION 1.6

LCDconverter 使用方法

Shimadzu LabSolutions の .lcd ファイルをTXTへ変換

変換の流れ



最短3ステップ

1 ZIPを展開

実行版ZIPを任意のフォルダーへ展開します。ZIP内から直接実行しません。

2 アプリを起動

LCDconverter.exeを起動します。
。EXEだけを別の場所へ移動しないでください。

3 .lcdをドロップ

1個または複数の.lcdファイルを画面のDrop枠へ入れます。

TIC・ポンプ圧力が必要な場合

変換前に「TIC・ポンプ圧力も出力」をONにします。初期状態はOFFです。

使用前の確認

動作環境	Windows / .NET 10 Desktop Runtime
必要ファイル	LCDconverter.exe、LCDconverter.dll、Shimadzu SDK DLLなどを同じフォルダーに保持
変換方式	ドラッグ&ドロップ / フォルダー監視
版情報	Version 1.6 - 2026年8月版

1 画面各部の説明

操作する場所を番号で示します。図は実画面の構成を簡略化したものです。

The screenshot shows the main window of the LCD Auto Converter Version 1.6. It features a title bar, input/output folder fields, a 'Start' button, a 'Stop/Cancel' button, checkboxes for 'Compound order' and 'TIC/Pump Pressure', a large drop zone for .lcd files, and a log window at the bottom. Numbered callouts (1-8) point to specific UI elements: 1. Input folder field, 2. Output folder field, 3. Start button, 4. Stop/Cancel button, 5. Compound order checkbox, 6. TIC/Pump Pressure checkbox, 7. Drop zone, 8. Log window.

1 入力フォルダ

監視対象。初期値は C:\%Lcd%\Input

2 出力フォルダ

監視変換したTXTの保存先

3 開始

指定フォルダーの監視を開始

4 停止 / キャンセル

停止は監視、キャンセルはDrop変換用

5 Compound昇順

出力系列を化合物名順に並べ替え

6 TIC・ポンプ圧力

TICとPump A/B Pressureを追加

7 Drop枠

.lcdファイルをここへドロップ

8 ログ

保存先、成功、警告、失敗を確認

設定するタイミング

2つのチェック項目は変換前に設定します。監視条件を変える場合は「停止」してから設定し直し、再度「開始」してください。

2 ドラッグ&ドロップ変換

単発または複数のLCDを、その場でまとめて変換するときの方法です。

1 オプションを選ぶ

必要に応じてCompound昇順ソート、TIC・ポンプ圧力を
変換前にONにします。

2 .lcdをDrop枠へ

エクスプローラーで1個または複数の.lcdファイルを選
び、Drop枠へ入れます。

3 進捗を待つ

成功・失敗件数、経過時間、残り推定を確認します。
必要ならキャンセルできます。

4 TXTを確認

「完了」と[OK]を確認し、元LCDと同じフォルダーにあ
る同名.txtを開きます。

保存先



C:¥Data¥sample.lcd



C:¥Data¥sample.txt

- 対象 ファイルのみ。フォルダーそのものや.lcd以外は対象外です。
- Drop位置 画面中央のDrop枠以外へ入れても何も起きません。
- 上書き 同名TXTがある場合、変換と検証に成功した時点で置き換えます。元LCDは変更しません。

キャンセルについて

「キャンセル」はDrop変換専用です。要求後、現在の処理が安全に停止するまで少し待つ場合があります。すでに完了したTXTは残り、結果はログとサマリで確認できます。



3 フォルダー監視で自動変換

入力フォルダーへ追加されるLCDを継続的に変換します。



- 1 入力フォルダを指定 参照ボタンまたは直接入力。初期値は C:\Lcd¥Input です。
- 2 出力フォルダを指定 監視変換のTXT保存先。初期値は C:\Lcd¥Output です。
- 3 オプションを設定 必要なチェック項目を監視開始前に選びます。
- 4 「開始」を押す 開始時点の既存LCDを処理し、その後の新規・変更・改名を監視します。
- 5 終了時に「停止」 監視条件を変えるときも、一度停止してから再開します。

動作	内容
フォルダー作成	指定先が存在しない場合は開始時に自動作成します。
監視範囲	入力フォルダー直下のみ。サブフォルダーは対象外です。
ファイル準備待ち	保存やコピー完了を確認してから変換します。ロック解除は最大60秒待ちます。
同じLCDの再処理	同一監視セッションでは原則1回です。置換後に再変換する場合は停止して再開始します。

4 出力内容とログの確認

TIC・ポンプ圧力: OFF

通常クロマトグラムのみ。Version 1.4と同じ出力内容です。

TIC・ポンプ圧力: ON

通常系列 + TIC + Pump A Pressure + Pump B Pressure。
存在する系列だけ追加します。

主なオプション

項目	内容
Compoundで昇順ソート	出力系列を化合物名の昇順に並べ替えます。
TIC・ポンプ圧力も出力	TICはnumber of detector counts、Pump A/B PressureはMPaで追加します。
並列数（自動）	複数ファイルのDrop変換に使用。CPU数-2、最小1、最大16です。

TXTの構造

```
id: M6_MeJA ##Q1=225.1 Q3=151.15 CE=-13
cvParam: time array, minutes
cvParam: intensity array, number of detector counts
id: Pump A Pressure
cvParam: pressure array, MPa
```

UTF-8（BOMなし）

ログの読み方

表示	意味
[READ]	LCD読み込み開始
[AUX]	取得したTIC・圧力系列数
[OK]	TXTの存在と確定後ファイルサイズを確認済み。保存先、系列数、bytesも表示
[WARN]	TICまたは圧力の一部がないため、取得できた系列だけで継続
[ERR]	読込、ロック、データ不足、保存などで失敗

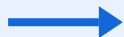
添付LCDでの検証例

全782系列（通常779 + TIC 1 + 圧力2）、758,041点。件数はLCDごとに異なります。

5 終了方法と困ったとき

通知領域（タスクトレイ）

最小化 / 右上×



トレイへ常駐



開く / 開始 / 停止 / 終了

完全終了はトレイアイコンを右クリックし、「終了」を選びます。

よくある症状と対処

症状	確認・対処
画面が出ない / 二重起動メッセージ	通知領域の既存アイコンを確認します。2個目は起動せず終了します。
TXTが見つからない	個別の[OK]に表示された保存先を確認。DropはLCDと同じフォルダー、監視は指定出力フォルダーです。
[WARN]が表示される	LCD内にTICまたは圧力がない、または一部を取得できない状態です。取得できた系列は出力されます。
60秒以内にロック解除されない	LabSolutionsの保存やファイルコピー完了を待ち、再度Dropするか監視を再開します。
ドロップできない	.lcdファイルをDrop枠へ入れます。フォルダーや枠外へのドロップは無効です。
通常クロマトグラムが0件	TIC・圧力だけでは成功扱いになりません。通常クロマトグラムを含むLCDが確認します。
アプリが起動しない	.NET 10 Desktop Runtime、ZIP全体の展開、Shimadzu SDK DLLを確認します。

問い合わせ・原因調査の前に控える情報

☐ Version 1.6であること

☐ LCDファイル名と発生時刻

☐ ログ末尾（[OK] / [WARN] / [ERR]を含む部分）

☐ 出力先フォルダーと空き容量